

室堂自然観察教育林

① レクリエーションの森の特徴及び概要

(特徴) 中部山岳国立公園内にあり、立山黒部アルペンルートの拠点及び立山への登山基地となっている。また、広大な溶岩台地と点在する高山植物を間近に見ることができ、大日岳から立山連峰に至る雄大な山岳景観の眺望にも優れ、自然観察に適しています。

(概要) 立山黒部アルペンルートの室堂ターミナル付近の高山植物、ミヤマリンドウ、ミヤマキンバイ等の点在する、高山帯です。自然観察の拠点として景観の維持形成、自然環境の保全を図っています。



室堂平の夏の賑わい



みくりが池より雄山を望む

② 利用状況、施設の設置状況

◎富山県と長野県の大町を結び、年間約100万人が訪れる立山黒部アルペンルート最大の利用拠点となっている。3,000m級の山岳を背景とした大自然を有しており、山岳景観の観賞、登山基地、自然観察、自然探勝、キャンプ及び山岳の観光地として、春から秋の三季を通じた滞在型及び日帰り型の利用が図られています。

◎国立公園室堂集約施設地区に指定され、室堂ターミナル、ホテル、山小屋、駐車場などが整備されており、自然景観を配慮して設計されたコンクリートの巨大な建物が立山連峰を背景にして自然と人工美の調和した特徴のある景観を呈しています。

③ 近隣の名所及び施設案内

◎主峰雄山(3,003m)や富山県の最高地点である大汝山(3,015m)、や最難関級の一般ルートの劔岳(2,999m)などがそびえアルピニストのメッカとなっています。

◎室堂ターミナルより北西約10分歩くと「みくりが池」がある。神にお供えする水「御庫裏」の意味にふさわしく、穏やかな水面をたたえています。

◎室堂平の北西に、今も不気味に音を立てながら水蒸気やガスを噴出している「地獄谷」があり、付近には最高標位の地獄谷温泉があります。



劔岳、立山連山を望む



蒸気を発する地獄谷